

質問 令和5年度から導入された、7年度には市内全ての小中学校がコミュニティ・スクールへ移行する予定だが、各校での運用状況と導入による成果は。

答弁 年5回の学校運営協議会を開催しており、地域のイベント等の企画段階から児童・生徒が携わる中で相互交流が図られたことなどが成果として挙げられる。

質問 中学校部活動の地域移行について、教員の負担軽減等のメリットがある一方で、指導者や練習場所の確保、保護者の負担増などの課題がある。市における地域移行の現状と今後の展望は。

答弁 6年度より学識経験者や保護者等を含めた協議会を設置し、地域における指導者の確保や運営体制などの検討を進めている。今後、学校と地域の連携・協働により生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親

学校運営について

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議員 ひえのたかゆき議員

充する考えは。②合併症でうつ病になった方の移動困難等の支援のため、福祉タクシー利用費助成事業や心身障害者自動車ガソリン費等助成事業の対象としては、①都の研修修了者を2名配置した支援事業を実施し、社会福祉協議会におけるサロン活動への補助を行っている。今後、他自治体の取り組み状況を検証していく。②他自治体の状況等を注視する中で研究していく。

一般質問 (要旨)



元気にたこあげ (緑ヶ丘公園)

質問 「103万円の壁」の見直しについて、世帯所得の増加などが見込まれる一方、地方税の減収など様々な影響がある。年収の壁が178万円に引き上げられた場合、市ではどの程度の減収となるのか。

答弁 制度見直しの必要性は認識しているものの、基礎控除が123万円に引き上げられると、仮定した場合、本市でも個人市民税が25億円程度減収になると見込んでいる。

質問 国では、使途の自由が拡大されている。昭島市では、早期の執行に努めるべく、市民や事業者の意向を踏まえ、真に必要な事業を見極める中で全庁連携の下、対応していく。

質問 カスタマーハラスメント対策について、加害者側がハラスメントと認識し

衆議院議員選挙を終えての今後の地方財政について

自由民主党昭島市議員 三田 俊司 議員

度が高い地方創生新型交付金の創設を最終調整しているとの報道がある。物価高騰対策や景気対策を推進すべくと考えるが、活用について現時点での見解は。

答弁 都が作成した周知啓発用ポスターの活用を含め、効果的な周知方法を検討していく。

質問 5歳児健診について、令和7年度より国は事業を実施する自治体に対しての補助額を引き上げる。7年4月の子ども家庭センターの開設とともに、地域特性に応じた展開が求められる事業については、市民や事業者の意向を踏まえ、真に必要な事業の構築等に課題がある。

答弁 医師の確保や支援体制の構築等に課題がある。5歳児歯科健診の通知に発達スクリーニングに関するチェック票を同封するなど、関係部署とも連携する中で相談体制を構築している。

質問 8050問題を抱える世帯の更なる増加が予想される。当該世帯が抱える問題について、どのように捉えているか。

答弁 就労していない中高年の子と高齢の親という構図から貧困に陥るリスクを抱え、同時に親の介護により子の就労が更に困難になるという悪循環も生まれやすい複雑な問題と認識している。

質問 ひきこもり・8050問題の定例会等を通じた情報共有により横の連携を強化することで、相談しやすい体制を構築している。

質問 ひきこもり当事者の社会参加を支援するため、当事者が安心して参加できる体験イベントや交流会を開催している。

答弁 居場所づくりとして、居場所づくりの周知を可能か。

答弁 検証を行う自殺対策審議会には、公募による市民が委員として参加し意見交換を行っている。

質問 ゲートキーパーという言葉や養成研修について、周知度を上げるための対応は。

答弁 ゲートキーパーの周知とともに、研修参加者を増やすことの必要性を課題として捉えている。市ホームページやXでの発信、ポスター掲示などにより、周知の向上を図っていく。

経験者による体験談やグループトーク等ができるイベントの開催について、広域連携も含め検討している。

質問 自殺対策計画について、評価・検証に対して市民との意見交換の場を設けることは可能か。

答弁 ①国によるモデル事業の効果検証や他自治体の動向等を注視し、どのような対応が可能か、今後の研究、速やかに公開できる体制を構築していく。

質問 身寄り問題について、少子高齢化と人口減少の本格的な背景に、頼れる身寄りのいない高齢者が増加している。①専任職員や弁護士、司法書士などの専門職を配置し、相談体制を充実する考えは。②広報紙やホームページに加え、サロンや自治会等においても身寄り問題を周知する考えは。

答弁 ①国によるモデル事業の効果検証や他自治体の動向等を注視し、どのような対応が可能か、今後の研究、速やかに公開できる体制を構築していく。

身寄り問題、投票率向上 GLP昭島プロジェクト

みらいネットワーク 林 まい子 議員

質問 G L P昭島プロジェクトについて、①選挙公報の配布が遅いことがあるが、市ホームページには最速で公開すべき。考えは。②主催者教育者・行政による協議会を前倒しして設定するよう、事業者に求める考えは。③事業者に対し、市がこれまで提出した意見書や要請書

提出案件と結果

○可決

- ▽令和6年度昭島市一般会計補正予算(第5号)
- ▽昭島市民総合交流拠点施設条例
- ▽昭島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市子ども家庭センター条例
- ▽昭島市道路占用料条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市都市公園条例の一部を改正する条例
- ▽昭島市指定金融機関の指定について
- ▽昭島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽(議員提出議案) 大規模物流施設及びデータセンター立地に係る法整備等を求める意見書
- ▽(議員提出議案) 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書
- ▽(議員提出議案) 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

○承認

- ▽専決処分承認を求めることについて(令和6年度昭島市一般会計補正予算(第4号))
- ※令和6年度予算の補正状況は1面に掲載。
- ※陳情の審議結果は4面に掲載。

小学生が本会議を傍聴



社会科・総合的な学習の時間の 일환として、小学校6年生(共成小学校、田中小学校)が、本会議を傍聴しました。